

廃プラスチックの最新リサイクル技術の動向

～サーキュラーエコノミーが目指す持続可能な社会におけるプラスチックの利用法～

◆日時：2024年5月20日(月) 12:30～16:30

◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円

・2名同時にお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※講師経歴はホームページでご確認下さい。

早稲田大学 理工学術院総合研究所 工学博士 加茂 徹 氏

<ご専門>

有機物理化学、リサイクル工学

<学協会>

プラスチックリサイクル化学研究会、廃棄物資源循環学会、
日本エネルギー学会、高分子学会、石油学会

【習得知識】

- ・サーキュラーエコノミーに関わる世界の動向
- ・廃プラスチック問題の現状と課題
- ・廃プラスチックのリサイクルに関する最新技術
- ・サーキュラーエコノミーが目指す社会における有機資源の使い方

【講座の趣旨】

温暖化ガスの排出量や資源消費量を削減しながら経済成長を確保するため、EUは2015年にサーキュラーエコノミーを提唱した。この野心的な経済モデルを実現させるには、新たな社会システムの構築と革新的な資源循環技術の開発が不可欠である。

本セミナーでは廃プラスチック問題を中心に、現状とサーキュラーエコノミーを実現させるための課題を解説する。

【プログラム】

1. サーキュラーエコノミーに関わる世界の動向
2. 日本国内におけるサーキュラーエコノミーに関する最新動向
3. 廃プラスチック問題の現状
4. プラスチックのリサイクル技術の概要
 - 4-1. 選別技術
 - 4-2. マテリアルリサイクル
 - 4-3. ケミカルリサイクル
 - 4-4. PETボトルのリサイクル
 - 4-5. エネルギー回収
 - 4-6. 評価法
6. 電気電子機器に使用されているプラスチックのリサイクル
7. 自動車に使用されているプラスチックのリサイクル
8. 炭素繊維強化プラスチック(CFRP)のリサイクル
9. バイオプラスチックへの期待と課題
10. サーキュラーエコノミーにおける資源循環の在り方

【WEB受講について】

・本講座は「Zoom」を使ってライブ配信します。視聴方法「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。事前にZoom WEBセミナーのはじめかた(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。視聴可能かご確認下さい。

・お申込み後は、受理のご連絡メールをさせていただきます。請求書等の書類をお送りします。

・セミナー開催前に視聴用のURLをメールでお送りします。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。

・セミナー資料は事前に郵送いたします。会社以外の場所で受け取りを希望される場合は、弊社まで発送先を住所をお知らせ下さい。

・タブレットやスマートフォンでも受講可能ですが、機能が制限される場合があります。

『廃プラスチック【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして受講券、請求書などの書類をお送りいたします。WEB視聴される方には前日までにテキストを送付いたします。セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>